

特定非営利活動法人



〒360-0002
熊谷市大塚 253-1
TEL/FAX
048-525-9290
代表理事 高岸加津子

就労継続支援B型 第5号 ゆりかご だより 平成23年4月発行



メンバーYさんの描いた似顔絵
題 モヒカン頭のSさん

ー 新年度のスタート ー

3月11日、M9・震度7、史上最大級の地震が東北地方を襲いました。

テレビ画面に映る恐ろしい津波の映像、次々と出てくる被害の状況、悲惨な状況のなか数々のドラマ、ニュース、を目の当たりにしました。

家も家族も仕事も失った人たち、原発の影響で家から離れなければならない人たち、みんなどんなに辛く悲しい毎日を送っていることでしょう。

遠く離れた関東でも震度5・6というかつて経験した事のない大きな揺れを感じました。

支援物資提供や義援金など、私達の出来る事をしていこう、1人の力は小さくてもみんな集まれば大きな力になる。そう信じて少しずつでも続けていこうと思います。あれから1ヵ月、月日は確実に過ぎ、東北にも春がやってきました。

77歳の男性が声をかけ神社の境内で花見大会が催されたニュースが流れました。

再会を喜び、がれきの中から見つけ出した和太鼓を叩き、久しぶりに楽しそうにしている被災者の皆さんの顔、♪うさぎお〜いしかのやま〜♪ 涙をぬぐいながら歌う皆さんの顔に色々な事が脳裏をよぎっているのだろうと思いました。

「元気が出ました。」「明日からまた頑張れます。」という声に東北の人たちの暖かくて辛抱強い心根を見た気がしました。

ゆりかごも4月から新年度がスタートしました。

今年は4月に新しいメンバーが入らなかったのも、新年度が始まったという実感もあまりなくいつもと変わらない生活を送っています。

これが平和というものか、なんて改めて感じ、地震に対するストレスはあるもののいつもと同じように平和に暮らせる有難さをしみじみと実感する毎日です。

メンバーには万が一に備え1人1人に防災頭巾を購入してもらい、椅子の背もたれに付けています。

避難訓練ではこれを被り外へ出る訓練はしているのですが、いざ地震で「被りましょう。」と皆に声をかけても、「(被らなくて)いいです。」なんて簡単に断られてしまい誰も被ろうとしません。

ゆりかごのメンバーは肝が据わっています。

「夜は怖いけど朝になるとゆりかごに来られると思って安心する」と言ってくれるメンバーもいます。

こんな事を言ってくれるメンバーの為に、ゆりかごが心の避難所、拠り所でいられるよう、職員一同心を引き締め新年度をスタートさせたいと思います。

まだまだ小さく発展途上の事業所ですが、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

—4月からの販売強化—

メンバーの仕事の一つとして2年前から始めた焼き芋販売と昨年から始めた移動販売車のフライ販売。

メンバーの仕事の一つとはいえ、今までは身体障害の多いゆりかごではなかなか関われる人がいませんでした。

メンバー自身も自分たちの仕事という意識があまり無く、職員が勝手にやっていて時々買って食べる。そんな風にとらえていたと思います。

そこで、営業部と販売部を立ち上げ、皆が関われるようにする事を考えました。

営業部は販売会議をし、販売先を開拓していき注文先を見つけていく。

早速会議を開き、

- これからの動きを検討し4月15日には配達開始できるようにする。
- 曜日を決めFAXで注文をもらえるようになったら、販売部が配達に行く。

という事も決めました。

それに伴った準備や旗出しなどの仕事も分担があります。どんどん売っていけば工賃アップに繋がります。

仕事に関する初めての全体会議でしたが、メンバーの顔からもやる気が見え、これからの販売に期待が持てそうです。

寒い冬が終わると焼き芋販売がなくなり、売上も減ってしまいます。

これを機にメンバーの士気が高まり、売上も上がっていくことを願っています。

—本当の春よ早く来い！—

メンバーの皆が楽しみにしている、ゆりかごにとっての一大イベントバス旅行を3月10日に行ないました。

就労継続支援B型に移行したら県のバス「おおぞら号」の使用が出来ないと聞いていたので、昨年が最後かと残念に思っていました。ゆりかごを支援してくださるグループが申込んでくださって、めでたく今年も行かれることになりました。

このバスが使えないとなったら民間のバスを借りなければなりません。

就労継続支援B型になったからといって、ゆりかごは財政面でも内容面でも何ら変わりがないため、高額な民間バス、（しかも車いすごと乗れるバス）を借りるのはメンバーもゆりかごも負担が大きくなるため考えられない事です。

今年も使わせていただけて本当に有難かったです。



そして、今年の行き先は品川プリンスホテルのエプソンアクアスタジアムと39階からの素晴らしい眺めのbuffetスタイル・トップオブシナガワプリンスコート。

いわゆる水族館と食べ放題。（どちらがメインか・・・）

まず到着後、美味しい食事にまっしぐら景色どころではありません、時間一杯食べ放題を満喫しました。

やっぱりゆりかごは花より団子でした。



水族館は思ったより小さくあっという間に見終わり、アシカショーとイルカショーを楽しみました。

アシカは人間顔負けの演技でとても可愛く、イルカショーでは最前列に座っていた若い女の子たちのびしょ濡れになる姿を見て大笑いしながら楽しませてもらいました。



バス中はビンゴゲームやカラオケ、おやつタイムにDVD鑑賞と、退屈しない旅行でした。今年はお天気も良く、元気に行ってこれ良かったです。

翌日、バス旅行の丁度帰り時間と同じ時刻にあの東北関東大震災がありました。

自分たちの事だけ考えると、1日違って良かったとホッと胸を撫で下ろしましたが、地震当日の様子や時間がたつにつれどんどん広がる被害に震える思いで毎日ニュースから目が離せなくなり、夢であって欲しいと心から思っていました。

被災した人たち、2次災害の原発の影響での被害を受けている人たちの事を考えると胸が苦しくなります。

この窮地を日本国民が一丸となって乗り越えていかなければならない、誰もが生きるため、助けるため、形は違っていても一生懸命、必死で戦っています。

1日も早く あの時は大変だったけど・・・
と話せる時が来てほしいと心から願わずにはられません。

春よ来い！ 本当の春よ早く来い！

切に思います。

亡くなられた多くの皆様、家族や友人、家や仕事・・・
何もかも失い失意のどん底にいらっしゃる方々、
本当に心からお見舞い申し上げます。



—熊谷B級グルメ販売奮闘記—

ゆりかごの職員が個人で始めたブログ「熊谷B級グルメ販売奮闘記」があります。

忙しくて、ブログの更新が毎日できないところが悩みです。

しかし今では、新着を投稿する度に一気に50 人位の方が見えて、総計数が、5700アクセスを超えました。少しずつですが見てくれる人が増えているのはブログを書く励みになります。

これからもたくさんの人に見ていただきたいので、パソコンや携帯から「熊谷B級グルメ販売奮闘記」と検索してみてください。

これはある日のブログです。

2011 年 02 月 17 日

 [このブログを購読する](#)

 焼き芋にハマッてしまったおばあちゃん

[B 級グルメ]

最近、熊谷のほとんどのスーパーに、石焼き芋が売っている。

1本100円から200円のあいだで、大きさに合わせて売っている。

焼けた芋の匂いに誘われ、買っている人を多く見かける。

今週の火曜日、「焼き芋が美味しいと聞いたので、配達してもらえないか？」という☎があった。

住所を訊ねたら施設から5分位の場所だった。

「何本必要ですか？」

「2～3本だよ」

「わかりました。今すぐ持っていきます。」

通所しているHさんと焼き芋を配達した。

水曜日にまた☎があった。

「昨日の焼き芋、スーパーで売っているのより美味しかったよ。また今日も2本お願いできますか？」

「わかりました。」

Sくんと一緒に配達した。

二日連続で☎があったので、さすがに今日はないなと思っていたら☎がきた。

「また配達してください。」

おばあちゃん、焼き芋にはまってしまったか😅

配達も通所メンバーの仕事になるので☎があるというのはありがたい。

美味しいと言われると自信がでてる。どこのスーパーにも負けないぞ👊👊

クチコミで広がって、たくさんの人から配達依頼の☎がくればいいなあ🙏

—お世話になります、ダモンネみはらし！—

街のコミュニティセンター「ダモンネみはらし」から、「地域のお祭りを
するので販売に来ませんか？」と声をかけていただき、昨年夏あたりから
販売させていただくようになりました。

最近は一コンスタントに月1回出させていただいています。

近所の方々が毎回買いに来てくださって、フライ販売の中で一番売り上
げが多くなっています。最近あまり売り上げが良くないのでとても有難
い企画です。

メンバーYさんが販売に行き、待ち時間に似顔絵を描くのも恒例かつ好
評になっているようです。

ダモンネみはらしでは、先日職員Uのライブと個展もさせていただき、
ゆりかごでは公私ともに大変お世話になっています。

2009 年熊谷市広報紙での紹介
「ダモンネみはらし」



素敵な山小屋風
『ダモンネみはらし』



並んで並んで！
ありがとうございます～

地域の皆さんのコミュニ
ティの拠点施設として、7月
から開設しています。
また、高齢者や子育て中
の親子、障害のある方などが、
地域で孤立することのないよ
う、身近な交流が図れる施設
としての場を提供しています。
地域の皆さんとのふれあいや
楽しい仲間づくりをはじめて
みませんか。

お気軽にお越しください。



職員Uの作品

職員Uの個展風景



メンバーYさんの描いた似顔絵

ご希望があれば移動販売に伺います
近隣であればどちらでも…
詳しいことは要相談！

フライドッグ・フライ販売
11時～2時

休み

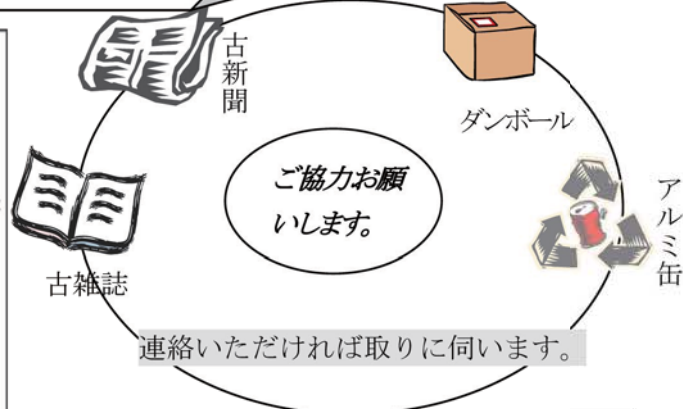
土・日・祭日・年末年始
ゴールデンウィーク
臨時休業有

電話での予約注文あり！



賛助会員募集中

年会費・1口1000円～
会報を送らせて頂きます。



編集後記

東日本が大きく長く揺れた。怖かった。

3歳の孫が初めて大きな地震を体験し、未だに日々怖がっている。

計画停電が地震に繋がるらしく、停電の話をするとうるさくなる。

地震が来たら海に家が流されると思っているようだ。

連日テレビから流れるあの時の様子と大きく揺れた怖さが不安と恐怖になって少しの揺れでも敏感になり、小さな心にのしかかっている。

こんなに離れた所に住むたった3歳の子供でさえ震えているのだから、被災にあった人たち、子供たちの恐怖と不安を思うと心が痛む。

1日も早い復興を…そう心から思う

